

注 意 事 項

1 競技場への入退場について

- (1) リレー競技登録者及びリレー参加校マネージャーは競技開始2時間30分前以降、その他の種目出場者は競技開始の2時間前以降とする。
- (2) 保護者及び一般市民の入場を禁止する。
- (3) 競技場への入り口は事務所前門とする。(リレー選手及びリレー参加校マネージャーのみ入り口は正門を加えた2か所にする。) 競技場へ入場を許可された者が一時退場・再入場できる出入り口は正門のみとする。
- (4) 選手は健康チェックシートとアスリートビブス(ゼッケン)を提示して入場すること。
- (5) マネージャーは各校1日2名までで、半日参加を厳守して入場できるものとする。半日の切替は12時30分を基準時刻とする。事前に名簿を提出すること。入場の際は健康チェックシートを提示し、名簿でのチェックを受けること。
- (6) 競技終了後は速やかに帰宅すること。

2 受付について

- (1) 各校引率教員は、競技場入場時に受付をすること。(教員の受付がないとき、選手は競技に出場できない)。また、受付は各日毎に行わなければならない。

3 競技規則および申し合せ事項について

- (1) 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- (2) 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技を行う。

4 招集について

- (1) 招集所は設置しない。
- (2) 各校顧問は、学校受付終了後に欠場者を報道室に在中する競技者係に報告すること。これをコールの代わりとする。
- (3) 最終コールは、トラック競技は各スタート地点付近で、フィールド競技は各ピットにて行う。
- (4) 予選実施競技の決勝のコールは腰ナンバーカードを受け取ることで代替とする。(7(3)を参照)

5 リレー競技のオーダー用紙提出について

- (1) 4×100mR、4×400mRともに顧問が9時15分までに競技者係へ提出すること。
- (2) 提出時間に遅れたチームは、棄権とみなし出場を認めない。

6 アスリートビブス(ゼッケン)について

- (1) トラック競技・投擲競技については胸背部に確実につけること。跳躍競技については、背または胸につけるだけでもよい。

7 腰ナンバーカードについて

- (1) 腰ナンバーカードは各自で作成し、持参すること。大きさは縦12cm×横18cmとする。事前にレーンを確認の上、黒のマジックでレーン番号を記入(太くはっきりと)しておくこと。
- (2) トラック種目は腰ナンバーカードを右腰やや後方に数字がよく確認できるように付けること。競技終了後は各自で処分すること。
- (3) 予選実施競技の決勝進出者については、決勝進出確定後に競技場入り口に腰ナンバーカード(シールタイプ)を受け取りにくること。

8 使用器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、「ポール」と「投擲器具」については各校から持参したものを使用する。ただし、投擲器具については大会本部にて検定

を受けること。なお、検定については次のとおりにする。

| | |
|------|-------|
| 検定時間 | 競技開始前 |
| 検査場所 | 各ピット |

9 競技について

- (1) 全天候型トラックなので、トラック・フィールドともにスパイクのピンの長さは9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投は12mm以下のものを使用すること。トラック競技において、ゴール後は正面スタンド裏を通行し各校ベンチに帰ること。その際、正面スタンド裏をスパイクで通行することは禁止する。
- (2) 選手及び学校関係者はスマートフォン、ビデオ等の情報通信機器類を招集所・競技場所に持ち込むことはできない。撮影については17項を参照のこと。
- (3) 競技中のケガ等については応急処置を行うが、その後は各学校で対処すること。
- (4) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順については、すべてプログラム記載どおりに行う。
- (5) 800mの9～12人目については、7、8、2、1レーンの順に入る。
- (6) 長距離競技の給水は主催者が用意する。
- (7) フィールド競技は、すべて計測する。
- (8) 投擲競技で滑り止め（炭酸マグネシウム）を使用する場合は、各自で用意すること。
- (9) 棒高跳については、天候不良の（予想される）場合、競技日時を変更することもある。
- (10) 走幅跳は2ピットで行う。三段跳の踏切板は男子10m、女子8mとする。高さの競技におけるバーの上げ方は以下の通りとする。

<バーの上げ方>

- (男子) 走高跳 練習 (1m55 1m80)
1m60, 1m65, 1m70, 1m75,
1m80, 1m85, 1m88・・・(以降3cmずつ)
棒高跳 練習 (2m60 3m00)
2m80, 3m00, 3m20, 3m40,
3m60, 3m70・・・(以降10cmずつ)
- (女子) 走高跳 練習 (1m25 1m45)
1m30, 1m35, 1m40, 1m45,
1m50, 1m55, 1m58・・・(以降3cmずつ)
棒高跳 練習 (2m20)
1m80, 2m00, 2m20, 2m30・・・(以降10cmずつ)

10 競技の番組編成について

- (1) トラック競技の決勝進出者の発表はアナウンスおよび記録速報（東三河陸上競技協会HP）で行う。
- (2) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足するときの処置は、写真判定主任が同記録者の写真を拡大し、より細かくタイムを判定して出場者を決定する。それでも決定できないときは、抽選とする。その他の同記録の場合も同様とする。

11 各競技の得点について

- (1) 1位6点、2位5点・・・6位1点とする。

12 表彰および県大会への出場権について

- (1) 男女総合は6位まで表彰する。
- (2) 男女トラックの部、フィールドの部は3位まで表彰する。
- (3) 各競技3位までの入賞者は賞状を授与する。
- (4) 賞状の授与は顧問にまとめて行う。
- (5) 各競技6位までの入賞者し、県大会出場標準記録を突破した者は、大会開催中に各校引

率教員を通じ、県大会出場の手続きを本部で行うこと。ただし、走高跳・棒高跳は6位6名以内とする。

- (6) 県大会への出場権を獲得した選手がそれを辞退した場合、出場権は7位以下の県大会出場標準記録突破者に順次繰り下がる。トラック競技の県大会出場9番目の競技者は、予選記録9番目の競技者とする。
- (7) 県大会出場標準記録は別表の通りである。
- (8) 男子5000mWにおいては下記の時間で競技を打ち切る。

| | | | |
|----|--------|------|-----|
| 男子 | 5000mW | 打切時間 | 30分 |
|----|--------|------|-----|

- (9) 男女ハンマー投で例年行っている県大会出場標準記録を突破するための追加の3回の試技は、今年度は実施しない。

13 ゴミについて

- (1) 出したゴミについては、各自が責任を持って自宅へ持ち帰ること。(感染予防対策のため、各自出したごみは各自で責任を持つこと。)

14 競技場での練習について

- (1) 大会準備に支障のない範囲で可とする。ただし、競技会開始時刻の20分前までとする。
- (2) 雨天走路は立ち入り禁止とする。
- (3) 競技場周辺での練習については、公園利用者等に迷惑になるような行動は慎むこと。

15 応援の禁止について

- (1) 集団応援は禁止とする。個別での応援(声かけ)もなるべく避けること。
- (2) カラーコーンなどで規制されたエリアには立ち入らないこと。

16 各校のベンチについて

- (1) 正面スタンドにおけるベンチについては、指定された場所に設営すること。また、荷物については競技終了後、必ず持ち帰ること。
- (2) 各校ベンチにおいても、必ずマスクなどを着用し、3密を避ける行動を心がけること。その際、熱中症に十分に気を付けること。

17 写真・ビデオ撮影について

- (1) 生徒たちの人権保護・肖像権保護のため、競技会における写真・ビデオ撮影について、ご理解とご協力をお願いします。各校に係る団体等が撮影を希望する場合は、必ず本部で許可を得ること。

<観客席からの撮影制限>

- 1 観客席での撮影を禁止させていただくエリアは下記の席です。
 - ◆各種目のスタート後方
 - ◆走高跳、走幅跳・三段跳・棒高跳の助走後方・着地前方
 - ◆走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)
- 2 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- 3 選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりする間や、体を動かしているなどの準備の行動は撮影を禁止します。
- 4 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡をとります。